

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	生涯スポーツ演習 B		
英文授業科目名	Lifelong Learning in Sports B		
開講年度	2004年度	開講年次	2 - 4 年次
開講学期	4 , 6 , 8 学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-健康・スポーツ科学科目-健康・スポーツ科学科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	石原・ 森井・ 森脇		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
yanagi@e-one.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>(a) : 主題 本演習は「健康・体力づくり実習」において学んだことをさらに発展させるプログラムである。スポーツは、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や個々人の心身の健全な発達に不可欠なものであり、生涯にわたってスポーツに親しむことは極めて大きな意味をもつ。特に学生時代は社会人へと移行する時期でもあり、スポーツライフの定着には絶好の機会である。</p> <p>(b) : 達成目標 各種のスポーツ技能の習得や理論、ルール、マナーの理解等を深めることによって、生涯スポーツの基礎を培うこと、また、スポーツ種目の実践を通じて、他者とのコミュニケーション能力を養うことをねらいとする。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
健康・体力づくり実習

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
健康論

<b>【教科書等】</b>
なし

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

授業は主として、西地区体育施設にて行なう。通常の時間割（後期）の中で行うアドバンスコースであり、技能や知識をさらに発展させ、生涯スポーツの基盤を確立する（バスケットボール：石原，柔道：森脇，硬式テニス：森井）。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a)：評価方法

本授業は演習であり、授業への参加が重視される。評価は、授業への参加状況、スポーツ・運動への取り組み、生涯スポーツのための知識の獲得、他者とのコミュニケーションへの取り組みなどで行なう。

#### (b)：評価基準

授業への参加状況（50%）、スポーツ・運動への取り組み（20%）、生涯スポーツのための知識の獲得（レポートを含む）（20%）、他者とのコミュニケーションへの取り組み（10%）とし、総合的に評価する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

体育事務室（東1-402）に連絡のこと。

### 【学生へのメッセージ】

演習A,B,C,Dのいずれか1単位が必修である。また、各演習の単位はそれぞれ1単位で、最高4単位まで認められる（必修の1単位以外は共通単位となる）。健康や体調に留意して、積極的な参加を期待している。

### 【その他】